

# 地域イノベーション戦略支援プログラム とくしま「健幸」イノベーション構想推進地域 (国際競争力強化地域) 終了評価結果

## (1) 地域イノベーション戦略の概要

○総合調整機関：公益財団法人とくしま産業振興機構

○プロジェクトディレクター：濱尾 重忠

○地域イノベーション戦略支援プログラムのテーマ：

徳島糖尿病研究開発イノベーションの創出による糖尿病克服と健康・長寿社会の実現

○地域イノベーション戦略支援プログラムの概要：

糖尿病重症化抑制に焦点を絞った先進的開発研究から、国際競争力のある革新的な医療シーズの創出を進め、得られた成果を地域で実証することで、世界的な課題となっている糖尿病の克服と国際社会に先駆けた健康長寿社会の実現を目指す。また、イノベーションの核となる人材の育成にも取り組み、成果の発展を加速させる。

○支援メニューごとの補助事業者：

・地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積：

国立大学法人徳島大学、学校法人村崎学園徳島文理大学

・地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施：

国立大学法人徳島大学

・大学等の知のネットワーク構築：

公益財団法人とくしま産業振興機構

## (2) 総評（総合評価：A）

経営経験の豊富なプロジェクトディレクターを中心に事業戦略の評価や見直しを行っており、全ての研究テーマに共同研究先企業がついて事業化を見据えた取り組みが行われている。糖尿病克服を掲げる県の施策に貢献するだけでなく、研究成果の中から他の疾病にも役立つ成果が生まれつつあり、海外の製薬会社からも関心が寄せられている。招へい研究者の能力が非常に高く、徳島大学、徳島文理大学では専門性の高い取り組みを行っている。海外にも通用する成果がいくつか出ているので、今後は国際競争力強化地域として自立的な発展がある程度期待できる。

## 【地域イノベーション戦略支援プログラムの進捗】

### ・目標達成状況

事業終了時には事業化目標件数が達成見込みである。取り組みの中から「超高感度 ELISA 法によるアディポネクチン測定キット」や「魚油由来の脂肪酸」の事業は特許出願がなされており、「アディポネクチン測定キット」は、近く上市が予定されている。一方、雇用創出が課題となるが、事業化が進めば将来的に達成ができるものと期待する。

## ・事業化

ベンチャー企業が4社創出され、徳島大学発ベンチャーに認定された3社のうち2社は、将来複数の事業のプラットフォームになり得る可能性がある。また、県外企業の参加が増えて取り組みに厚みができしたが、海外に関しては研究者の個人的ネットワークに依存しているため、今後はチームとして戦略的に取り組むことで、さらなる展開を期待したい。

## 【事業体制】

### ・プロジェクトディレクター及び総合調整機関

プロジェクトディレクターは、KPI レビューを取り入れた事業戦略推進会議を通じて PDCA サイクルを回し、毎年予算編成会議を開いて予算配分の見直しを行うなど、民間企業での経営経験を活かしている。とくしま産業振興機構は、事業化支援のために地域連携コーディネータ3名、知的財産コーディネータ1名を、また海外技術・市場動向、創業経営、規制対応の各アドバイザーを配置するなど、多様な専門人材を配置することで、プロジェクトディレクターをサポートしている。地域連携コーディネータは、共同研究先企業と研究者の間に立って事業化が進むように活動し、各研究テーマで実績をあげている。

### ・補助事業者の構成

徳島大学と徳島文理大学は、若手研究者を県外から招へいし、事業化に向けた取組成果を収めている。とくしま産業振興機構は地域連携コーディネータだけでなく、知的財産コーディネータを配置し、知財戦略に関しても PDCA を行った点はイノベーション創出に有益であった。各大学が研究開発や人材育成を担い、総合調整機関が知のネットワーク構築や研究成果の事業化に向けたマッチング等の各種施策を実施する体制となっており、役割分担と相互連携が適切に実施されている。

### ・予算配分や研究テーマの検討

創薬分野、知的財産関係の専門家を外部評価委員に委嘱して、本プログラムの評価と同じ S～D の5段階評価によって選択と集中を行い、見直しを行っていた。研究開発の進捗を客観的に見た上で予算配分が行えるメリットがあり評価できる。

## 【イノベーションエコシステムの形成・高度化】

### ・環境・意識の変化

徳島大学は大学病院の組織を模して「産業院」を設置し、教育・研究成果の事業化・産業化に取り組む姿勢を明確にした。また、本事業を通じて多くの研究者を呼び込むことができた。月次の事業戦略推進会議やパートナー企業との連携等を通じて、研究の早い段階から事業化や製品化に向けた意識付けの徹底が図られており、創業・経営アドバイザーの配置や独立系ベンチャーキャピタルとの連携協力協定の締結等を通じて、研究成果に基づく徳島大学発ベンチャー企業も設立されている。また、各種フォーラム等の開催による県内地域や事業所等への機運醸成や人材育成プログラムによるプロジェクトマネージャー、地域糖尿病療養指導士、及びICTネットワーク運営・分析担当者等の裾野人材の定着と広がりが進展している。

## ・マーケティング・成果発信の状況

総合調整機関において、事業化統括や創業・経営アドバイザーを中心に、関連企業との幅広いネットワークを活用した企業ニーズ調査、マッチング交渉、及び優位性検証を実施している。製薬企業の海外事業経験者や知財の専門家等で構成する国際技術動向調査ユニットにおいては、研究テーマに関連する最新の論文及び学会発表等の調査を実施し、米国糖尿病学会に毎年度参加して市場調査や治療薬に関する動向調査も行っている。また、英語と中国語のパンフレット及びホームページを作成し、世界規模の展示会への出展等も行われており、国際競争力強化地域を意識した活動を推進している。

## ・波及効果・資金確保

前身事業の知的クラスター創成事業からの継続的な取り組みにより、事業成果として、大企業への技術導出や地元企業による製品化、ベンチャー企業の設立がなされている。徳島県内における40歳以上で糖尿病が強く疑われる人の推計数が減少する等、地域の課題に対しても関連施策もあわせ一定の効果が表れている。また、大学支援機構によるクラウドファンディングサービスの立ち上げや、県による「とくしま経済飛躍ファンド」の造成等、本事業終了後の自立化に向けた取り組みも進んでいる。今後は、パートナー企業の研究資金の拡大や更なる民間事業者からの資金獲得に期待したい。

## 【各支援メニュー】

### ・地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積

研究開発は、何れも優れた招へい研究者とパートナー企業との共同研究等により、順調に進められ目標とする事業化の目途がついている。糖尿病の克服という地域テーマに対して、前身事業の知的クラスター創成事業からの継続も含め、全ての研究が本事業期間中に成果をあげた。また、「阿波あいネット」の医療機関ネットワークが設置され、医療機関同士の情報共有が進められている。最適な個別化治療プログラムを開発することで、地域での有用性を検証し、他地域へ発信できる成果となることが期待される。

### ・地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施

実施機関である徳島大学が、産業界や自治体と密接に協力・連携することにより、プロジェクトマネージャー、地域糖尿病療養指導士、ICTネットワーク運営・分析担当者の3つの人材育成プログラムを効果的に実施し、各々資格取得者を順調に増やしている。プロジェクトマネージャー育成プログラムについては、大学、医療機関、企業を対象としたイノベーション「基礎コース」「実践コース」に分けた試みはユニークで効果的と思われる。さらに、実践コースでは、ベンチャー企業の参加もあり、効果的なプログラムで行われている。本事業から設立されるベンチャー企業のCTOに就任する人材も育成されており、本事業終了後もプログラムが継続されることを期待する。

### ・大学等の知のネットワーク構築

徳島大学と大手水産会社、徳島県立工業技術センターとで「魚油由来脂肪酸に関する共同研究コンソーシアム」が設立され、臨床試験でPOC取得したことから特許出願を行っている。ま

た、徳島地域のヘルスケア産業育成に向けた「とくしま健康寿命延伸産業創出プラットフォーム」も設立され、徳島県全体で新産業創出を図る仕組みづくりができてきた。大学と医療機関の連携である「阿波あいネット」も県全体の医療機関とのネットワークを構築されることで、さらにコンソーシアムやプラットフォームが生きてくると思われる。コーディネート活動については、一定レベル以上の質の活動がなされている。知的財産コーディネータの良く練られた知財戦略は興味深い。地域連携コーディネータは、単純にニーズとシーズを合わせるということだけでなく、プロジェクトのイメージを自分自身で構築した上で能動的に活動がなされているように見受けられた点が評価できる。